

第4回定例会

町長より行政報告がなされました。
(内容は要約して掲載しています。)

・町長行政報告

町長行政報告

農業情勢について

春は雪解けも順調だったものの、その後の不順な天候の影響で作付けや生育が遅れましたが、夏場の天候も回復し出来秋を期待しております。

秋まき小麦は、「きたほなみ」に全量切り替わったが、高温の影響を受け予想を下回る収量となり、ビートも収量で平年を下回り糖度も16.6%と低く販売額も減少する残念な結果になりました。

農産販売計画17億2千万円に対し実績では12億8千万円位となる見込みです。小麦等の作物の減収分は共済金で補填されるということです。

畜産関係では、配合飼料等の高止まり、東日本大震災や原発事故などの影響で価格の低迷が続く経営は不安定な状況です。

生乳生産は、昨年の猛暑によるダメージを引きずり増産が出来ない状況です。目標の

4万5500トン若若干下回る4万3900トン程度になる見込みです。搾乳農家戸数の減少分を補うまでにはなりませんでした。

酪農畜産の販売額では、64億円の計画に対し実績では63億6千万円と計画を若干下回る見込みです。

農産販売額全体では、81億2千万円に対し実績76億4千万円程になる見込みで、恵みの年とはならず、残念な結果となりました。今年度は農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業で表乾燥施設とTMRセンターが整備され、新年度に期待するところです。

漁業について

外海ホタテ漁業は7600トン、単価110円の計画でスタートし、12月20日頃まで操業見込みです。今年度は昨年と比較して全道的に原貝が少なく、製品価格が高く推移していました。11月末には8075トン、単価159円と数量、単価ともに計画を達成しております。

養殖ホタテは、1850トン、キロ単価280円の計画でスタートし計画通り生産見込みです。

かき漁業は東日本大震災により種かきの搬入は困難と思

いましたが、幸い種かきを三組合とも確保でき計画通りの生産の見込みです。

さけ位置網漁業は、昨年対比66%の来遊でしたが、価格に恵まれ5億1千万円の漁獲高で、昨年とほぼ同じ水揚げ額で終了し、総水揚げ額は27億円を上回る見込みです。

町有林事業の執行状況

町有林事業の執行状況については、平成23年度に計画している事業は全て終了です。

公共事業の執行状況

平成23年度に計画している事業は合わせて49件で契約金額は4億2千万円となっております。道営土地改良事業の執行は計画通りに発注され、平成21年度着工した基幹水利施設ストックマネジメント事業は完了しました。

障害者控除対象者認定の

遡及認定事務の終了について

高齢で認知症や寝たきりの人は障害者手帳の交付がなくとも障害者控除が認められ、非課税世帯になると医療保険や介護保険の軽減措置が受けられる制度で、平成18年度から認定事務を進めてきた5年間の実績は4件でした。このことから過去5年間分

を遡及して認定することで所得税や住民税を減額し、修正所得により介護保険料や国保も還付することで事務を進めました。

今回認定該当者として通知したのは更正が見込まれる86名で還付にかかる予算は今議会での補正計上します。

今後の制度周知については広報に加え、該当者全員にも通知します。

遠軽清掃センター焼却施設の更新について

9月にも両委員会に説明しましたが、精密機能検査の結果を踏まえて施設の延命化か新設かの協議を重ねてきましたが、現施設では故障しても製造メーカーが廃業し部品が調達できないことや定期点検等にかかる1ヶ月間、各町で埋立て処理をしなければならぬことなどの問題などがあり、又建設コストやランニングコストを比較した結果、新設による更新が妥当と判断しました。

用地については、現在地に確保でき、今後遠軽町では補助制度の活用ができるよう関係機関と協議を進めるため、基本構想に係る経費の補正予算を計上しますが、本町と湧別町は平成24年度に必要な予算を計上する予定です。